



9

史跡を 大事に伝える工夫



■ 史跡をみんなに知つてもらうには、史跡をじつさいに見つめらうことが大事です。でも、山の中の道を歩くことになりますから、ころんだけがなどしないような道にしておかなければなりません。

■ また、だれが見てもわかるように、道案内や史跡を説明するかんばんがあることも大事になります。こうしたことをできるだけはやくととのえて、わかりやすくみんなに見つめらうように工夫します。

史跡で ころんだけがを しないように しないとね。





なか しせき
* まちの中にある史跡かんれんのかんばん・案内

いろいろ あんない
【色々なかんばん・案内(1)】



う さ み
宇佐美の まちには 史跡にかんする かんばんや案内
まえ
はだいぶ前から あちこちにあるのよ。
これから もっとわかりやすいものに 作りかえていく
たいわね。



- ひだり いし みちあんない
 * 左 : 石にきざんだ道案内
 みぎうえ おお
 * 右上: 大きなかんばん
 みぎ中 中 あんない
 * 右中: まち中の案内
 みぎした いし ぱしょ おお
 * 右下: 石にきざんだ場所のなまえと大きなかんばん
 いろいろ あんない
 【色々なかんばん・案内(2)】



どんな かんばんや 道案内が いいかな。
 史跡 に 行ってみたくなるようなものがいいな。



10

し せき だい じ つた 史跡を大事に伝えるためのしくみづくり



■ 史跡は、みんなで協力して伝えていくことが大事です。宇佐美、伊東にすんでいる人、市役所のひと、史跡のある土地をもっている人、史跡を研究する人、史跡を観光に活用する人などです。また、同じような史跡がある、ほかのまちとも協力します。

■ 色々な人が協力できるしくみをつくるために、つぎの3つのことをきめました。

みんなで 力を あわせて 史跡を 伝えていくしくみが
大事だね。



1 市役所の中でも色々な人が協力

できるように工夫します。

2 史跡をずっと先まで伝えていくための

工夫などについて、みんなで話し合い
をすすめます。

3 みんなでじょうずに協力できるような

しくみづくりを工夫します。

みんな！
力を あわせてね。





11

史跡を 大事に 伝えるための こなまかな計画



■ 史跡をずっと先まで伝えていくためには、この計画書をもとにして、いつまでに何をするかという、もっとこまかに計画をきめなければなりません。あと5年のうちには、色々なこまかることをきめることにしてますが、5年をまたずに、きめたことはできるだけはやく実行していきます。

この「計画書」だけじゃなくて これから もっと
色々な ことを きめていくんだよ。





12

計画書のとおり 進んでいるか よくみる



■ **史跡**をずっと先まで大事に伝えていくには、この計画書のとおりに色々なことが行われているか、進んでいるか、いつもよく見ておかなければなりません。そして、ちがつたことが行われていたり、おくれていたりした時には、それをなおさなければなりません。

■ そのために、よく見なければならないことをこまかくきめて、見わすれがないようにします。

はあ～い。

計画書を つくるて おわり
じゃあないんだ。
それって 大事なことよね。
みんなわかつたあ。





えどじょういし
江戸城の石がき

■ 発行日 令和5年3月10日
■ この冊子をつくったところ 宇佐美江戸城石丁場遺跡・伊豆古道保存会
(理事長 森篤)
静岡県伊東市宇佐美403-2 電話 0557-48-9534

■ ご協力していただいたところ 伊東市教育委員会

* この冊子をつくるのに、伊東市から補助金をいただきました。

また、「一般財団法人伊豆屋伝八文化振興財団」から助成金をいただきました。

非売品 (この冊子は売っていません)